

厚生労働科学研究  
ICT を利用した医師国家試験の評価方法の開発と検証のための研究  
(研究代表者:河北博文)

# 2024 年度 医師国家試験 CBT トライアル試験 【実施要項】



公益財団法人 日本医療機能評価機構  
Japan Council for Quality Health Care

## I 研究概要

公益財団法人日本医療機能評価機構は、国民の健康と福祉の向上に寄与することを理念とし、中立的・科学的な立場で総合的に医療の質・安全の向上と信頼できる医療の確保に関する事業を行っております。

その取り組みの一環として、我が国の医学教育を充実させて医療の質向上を図るために、当機構理事長 河北博文が研究代表者として、2021年度から2023年度まで、厚生労働科学研究「ICTを利用した医学教育コンテンツの開発と活用に向けた研究」を行ってまいりました。この研究では、2020年11月の「医師国家試験改善検討部会」において示された医師国家試験へのコンピューター制(CBT)の導入の実現に向けて、医師国家試験CBTトライアル試験(以下、「トライアル試験」という)を実施してICTを利用した試験システムを新たに構築することを目的に、現行の医師国家試験出題基準に基づき、動画や音声・画像ファイルを取り入れた問題を作成し、インターネットを介したCBT試験システムを用いてトライアル試験を実施し、医師国家試験CBT化に向けた課題やその対応策について研究してまいりました。

2021年度は10大学、2022年度は16大学、2023年度は46大学にご協力をいただき、概ね円滑に実施することができました。また、試験問題は、動画、音声ファイルを取り入れてより実臨床に近い問題、および診療の流れを評価するための長文形式の問題、臨床推論を評価する後戻りできない問題等を提示し、知識だけでなく、技能の一部についても評価することを可能としました。

さらに、2024年度より、厚生労働科学研究「ICTを利用した医師国家試験の評価方法の開発と検証のための研究」(研究代表者:河北博文)(以下、「本研究」という)が採択されましたので、医師国家試験のCBT化の実現に向けて、動画・音声等を用いた実臨床に近いCBT試験問題を作成し、全国の大学でトライアル試験を実施し、医師国家試験CBT化に向けた課題やその対応策について研究を進めています。

トライアル試験は、本研究の趣旨にご理解いただいた大学および学生の皆様からのご協力のもとに実施し、本研究の目的達成のために行うものであり、各学生の試験結果等を比較することや公開することなど、他の目的には使用しません。なお、ご協力いただいた学生および大学に対しては、試験結果および解説等についてフィードバックします。

## II 医師国家試験トライアル試験概要

実施期間	2024年9月29日(日)～2025年2月28日(金)のいずれか1日(土・日・祝日も可)
実施方法	実施大学のPCより、CBT試験システム※にアクセスして、付与されたIDとパスワードでログインし、試験問題に回答します。 ※CBT試験システムは株式会社内田洋行が運営するTAOクラウドサーバを使用しています。
対象学生	医学部に在籍する6年生または5年生
出題問題/ 試験時間	医師国家試験に準じて合計200問の試験 A問題(医学各論):75問(回答時間120分) B問題(必修問題):50問(回答時間70分) C問題(医学総論):75問(回答時間120分)  試験問題は現行の医師国家試験出題基準に則って作成され、現在の医師国家試験では取り上げていない動画・音声等を含めた臨床推論などの問題も含まれます。
備考	○ 試験問題の順番は、受験生によって異なります。 ○ 試験の結果(得点)、および各試験問題の対象疾患、出題意図、キーワードについて、試験後に大学を通じて個々の受験生へフィードバックします。

## II 試験実施の流れ



### 1. 承諾/日程の確定

#### 1) 承諾書の提出(トライアル試験実施希望日程の提出)

トライアル試験の実施承諾と合わせて、実施期間(2024年9月29日～2025年2月28日)のうち、希望する日程、および実務担当者の連絡先をご記入の上、実施希望日の2週間前までに、評価機構事務局([info-kakenCBT@jcqhc.or.jp](mailto:info-kakenCBT@jcqhc.or.jp))までメールでご提出ください。試験の時間割について調整が必要な場合は別途調整します。

また、承諾書の署名は、貴大学の医学部長または医学教育の責任者等のご署名をいただきますようお願いいたします。

#### 2) 試験実施日程の確定

試験実施日程は概ね大学側のご希望日程に沿って決定します。なお、システム上の都合等により調整することがありますので、ご了承ください。

## 2. 事前準備

### 1) 受験者数、イヤフォンの必要数の提出

試験実施日程の確定後、受験者数およびイヤフォンの必要数についてお伺いします。試験実施日の2週間前までに評価機構事務局までメールにてご回答ください。

トライアル試験では動画・音声を用いた問題がありますので、受験にあたりイヤフォンを使用します。イヤフォンは受験者の私物または大学所有のものを使用することも可能ですが、大学側でご用意できない場合は評価機構で用意しますので、評価機構で用意するイヤフォンの必要な数をご回答ください。

### 2) 事前テスト

試験実施日程の確定後、試験実施のためのご案内を実務担当者へご連絡します。この際、事前のシステム動作確認やシステムの操作、注意事項等の説明資料もメールにて送付しますので、必ずご確認ください。

試験実施日の1週間程度前までには必ず実施テストを行っていただき、動作確認を行うようお願いいたします。

### 3) 受験 ID およびパスワードの確認

試験実施日程の確定後、上記2-1)でご回答された受験者数に従い、評価機構事務局にて受験 ID とパスワードを発行し実務担当者へメールにてお送りします。お手元に届きましたら受験者数等に間違いがないかご確認ください。

なお、受験者数に加え、予備のアカウント(IDとパスワード)を複数設定します。

また、受験 ID と受験者との紐付けについては、個人情報が含まれるため、評価機構では管理しません。大学側での管理をお願いします。なお、試験結果についても受験 ID を元に返却しますので、紐付け情報については確実な管理をお願いします。

### 4) PC および試験環境の準備

トライアル試験はインターネット上で実施します。試験で使用する PC を受験者1名に対し1台用意し、インターネットに接続できることを確認してください。また、各 PC にイヤフォン、ボールペン、メモ帳をセットし、受験者同士の配置は、可能な範囲で不正防止のため間隔をあけるなどの対応をお願いします。

試験実施日の2週間前を目途に、当日の実施に関するご案内「2024年度 医師国家試験 CBT トライアル試験 実施マニュアル」をお送りしますので、併せてご確認ください。

なお、試験当日は、2名～3名の方に試験監督の対応をお願いします。

### 3. 試験実施(当日)

#### 1) 受験者へ ID およびパスワードの配布

試験直前に各受験者へ ID とパスワードを配布してください。途中退出した場合や昼休み明けの時間等では、自動でログアウトされることがありますので、受験中はいつでもログインできるよう、受験者は常に ID とパスワードを参照できるように周知しておいてください。

#### 2) 試験の実施

試験前に通知された URL にアクセスし、ログイン画面から、配布した ID とパスワードにて各受験者がログインし、試験を実施します。

試験当日の準備および注意事項の詳細は、試験実施日の 2 週間前にご案内する「2024 年度医師国家試験 CBT トライアル試験 実施マニュアル」を併せてご確認ください。

<当日の試験スケジュール例>

	集合時間	試験時間
A 問題	08:40	09:00 ~ 11:00 (120分)
B 問題	11:15	11:20 ~ 12:30 ( 70分)
C 問題	13:35	13:40 ~ 15:40 (120分)

※当日のスケジュールの調整が必要な場合は、事務局までご相談ください。

特に申し出がない場合は、上記スケジュールで実施となります。

#### 3) 実施後アンケートへの回答

医師国家試験 CBT トライアル試験に関するアンケート調査へのご協力をお願いします。

試験終了後(C 問題の提出後)にアンケートへ回答してトライアル試験は終了となります。アンケートは、試験と同じシステム上で実施します。

### 4. 結果返却

#### 1) 試験結果の送付

試験終了から 1 週間程度を目安に、受験者 ID ごとの試験結果(得点と順位)、および出題された設問のキーワードや症候一覧(PDF ファイル)を実務担当者にメールにてお送りします。大学側で管理されている受験番号・氏名の紐づけデータに従って、受験者に返却してください。

### Ⅲ 試験実施の注意事項

#### 1. 当日の進行および対応

- ✓ トライアル試験では、基本的に手回り品は、座席には一切持ち込み禁止です。ただし、時計機能のみの腕時計、目薬などは持ち込み可能とします（スマートウォッチは不可となります）。
- ✓ 入室時に持ち込んだ手回り品、およびスマートフォン、タブレット、ウェアラブルデバイスなどの電子機器は、あらかじめ用意された所定の場所に置いて、受験する PC が用意された場所に着席してください。
- ✓ 試験に必要な筆記用具（ボールペン）を評価機構で用意しますので、筆記用具の持ち込みも禁止です。
- ✓ メモ用紙のフォーマットは評価機構で用意しますので、印刷して受験者へ配布してください。メモ用紙は、試験終了後回収して破棄してください。
- ✓ 試験で使用するイヤフォンは、必要個数を評価機構より手配します。試験実施後、使用したイヤフォンは持ち帰り、または廃棄処分してください。
- ✓ その他の入室時の注意事項があれば、大学で適宜指示してください。
- ✓ 着席後、ID とパスワードを入力して試験システムにログインします。試験問題の最初の画面に受験に際しての注意事項が記載されますので、ご確認ください。
- ✓ 試験監督の開始の合図とともに回答を始め、終了とともに画面を閉じます。
- ✓ A 問題と C 問題は試験開始後 60 分、B 問題は試験開始後 30 分から途中退席を可能としますが、再入場はできません。遅刻した場合は、A 問題と C 問題は試験開始後 30 分まで、B 問題は試験開始後 15 分まで入場を可能とします。それ以降に遅刻した場合は、受験することができません。
- ✓ 長文問題は、1 ページに問題文（画像などがある場合にはそれらも含みます）、および回答肢すべてが収められています。画面をスクロールして回答します。また、連問の場合は、後戻りができなくなります。
- ✓ 試験時間の時間割（開始時間）は、大学ごとに調整することが可能です。ただし、試験時間を変更することはできません。また、パートごとに日程を変えて実施することも可能ですので、変更される場合は事務局までご相談ください。

## 2. その他

- ✓ トライアル試験の問題は非公開としていますので、画面のスクリーンショットおよび撮影可能な電子機器類での撮影は禁止とします。試験監督者は、この点に十分な注意を払ってください。医師国家試験CBT化に備えるため、問題はプールして、IRTの算出などを行いますので、一切公開しません。
- ✓ トライアル試験では、不正行為があった場合は、試験中止の措置を行うことがあります。
- ✓ 万一、インターネットの通信障害などで試験システムにアクセスできない場合は、時間を変更するか、トライアル試験の中止、または延期などの措置を講じることがあります。
- ✓ トライアル試験の実施にあたり、謝礼や謝金などは発生しません。
- ✓ トライアル試験の試験問題は非公開としているため、問題は持ち帰りできません。

## 本研究分担者一覧

[敬称略：研究代表者以下 50 音順]

### <研究代表者>

河北 博文（公益財団法人日本医療機能評価機構 理事長）

### <研究分担者>

浅田 義和（自治医科大学 医学教育センター 准教授）

岡崎 仁昭（自治医科大学 医学教育センター 顧問）

久保 沙織（東北大学 教育学研究科 准教授）

小西 靖彦（順天堂大学 医学教育研究室 特任教授 / 日本医学教育学会 理事長）

小松 弘幸（宮崎大学 医学部 医療人育成推進センター 教授）

高村 昭輝（富山大学 学術研究部医学系 教授）

内藤 俊夫（順天堂大学 大学院医学研究科 教授）

奈良 信雄（順天堂大学 医学部 客員教授 / 一般社団法人日本医学教育評価機構 常勤理事）

錦織 宏（名古屋大学 医学系研究科 教授）

伴 信太郎（愛知医科大学 医学教育センター 特命教育教授）

松山 泰（自治医科大学 医学教育センター センター長 教授）

森 博威（順天堂大学 大学院医学研究科 准教授）

河北研究班では、単に研究だけに終わらせるのではなく、医学教育臨床実習、臨床研修、生涯教育まで、シームレスな医学教育の全体像を考えて、我が国の医学教育と医師国家試験の充実を図るために、医師国家試験の CBT 化の実現に向けて研究に取り組み、実際に医師国家試験の CBT 化の実施につなげたいと考えています。このためには、全国の大学医学部をはじめ、医学教育に関連する団体のご協力が必要と考えています。

国民から信頼される臨床能力に優れた医師を養成するために、医学教育と医師国家試験の充実に向けて、是非ご協力、ご支援を賜りますようお願いいたします。

2024年7月25日

<問い合わせ>

公益財団法人日本医療機能評価機構

医師国家試験・医学教育研究(厚労科研 河北研究)担当

Tel:03-5217-2320 E-mail:info-kakenCBT@jcqhc.or.jp

